

衛生・公衆衛生学

担当講座（分野）：口腔医学講座予防歯科学分野

第2学年 後期

後期 講義 18.0時間 演習 1.5時間 実習 9.0時間

一般目標（講義）

疾病の原因、リスクならびに健康要因とその管理方法への包括的理解を得ることで、歯科保健医療分野における地域住民のリスク管理ならびに地域の環境改善に貢献できるようになる。

講義日程

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
11月8日(火) 2限	岸光男教授	公衆衛生総論 公衆衛生学の概念と役割を理解する。	1. 公衆衛生学を適用する現代社会の背景を理解する。 2. 健康の概念を概説する。 3. 疾病の概念を概説する。 4. 第一次、第二次および第三次予防を説明する。 5. プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションを説明できる。
11月15日(火) 2限	岸光男教授	疫学Ⅰ（総論） 疫学について理解する。	1. 疫学の概念を説明する。 2. 疫学の研究方法を列挙する。 3. 疫学の研究方法と適用を説明する。 4. 疫学指標（相対危険度、寄与危険度、オッズ比）を説明する。
11月22日(火) 2限	南健太郎助教	疫学Ⅱ（口腔疾患の疫学指標） 口腔疾患の疫学指標について理解する。	1. 歯科疫学調査の特性を概説する。 2. 齲蝕の疫学指標を列挙する。 3. 歯周疾患の疫学指標を列挙する。 4. 口腔清掃度の疫学指標を列挙する。 5. その他の歯科疾患（歯のフッ素症、不正咬合、など）の疫学指標を列挙する。
11月29日(火) 2限	岸光男教授	疫学Ⅲ（スクリーニング） 疫学調査と集団健診（スクリーニング）について理解する。	1. 標本抽出の目的を説明する。 2. 標本抽出法を列挙する。 3. スクリーニングの意義を説明できる。 4. スクリーニングの有効性の指標を列挙できる。
12月6日(火) 2限	岸光男教授	疫学Ⅳ（EBM、疫学演習） 科学的根拠に基づいた医療（EBM）を理解する。 疫学指標を算出できる。	1. EBMを概説できる。 2. 根拠ある歯科疾患の予防法を列挙できる。 3. 疾病リスクを数量的に評価する。 4. スクリーニングの有効性を数量的に評価する。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
12月13日(火) 2限	岸光男教授	感染症・非感染症の予防 感染症・非感染症の成立と予防について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 感染症成立要素を列挙する。 2. 感染症成立要素に応じた対策を概説する。 3. 感染症法に基づく感染症列挙する。 4. 非感染症の要因と成り立ちについて説明できる。 5. 主な非感染症を列挙する。 6. 非感染症の原因と予防について説明する。
12月20日(火) 2限	南健太郎助教	環境と健康 I (地球環境保全、公害、温熱環境、大気物質) 環境問題について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主な地球環境問題を列挙する。 2. 主な世界環境保全のための条約等を列挙できる。 3. 地球温暖化の原因と影響を説明する。 4. 日本の代表的公害事例を列挙する。 5. 環境基本法を概説する。 6. 空気の正常成分と異常成分を列挙する。 7. 大気汚染物質による健康影響を説明する。
1月4日(水) 2限	松井美樹助教	環境と健康 II (水質・騒音・廃棄物) 環境と健康との関わりを理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生活用水の取水から排水までの経路を概説する。 2. 浄水法を説明する。 3. 上水道の水質基準を列挙する。 4. 汚水処理法を説明する。 5. 水質汚濁による健康影響を説明する。 6. 騒音・振動の健康影響を説明できる。 7. 廃棄物処理を概説できる。
1月10日(火) 2限	非常勤講師 米満正美先生	人口問題 人口問題の公衆衛生学的意義を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 我が国の人口の年次推移を説明する。 2. 人口静態の指標を列挙する。 3. 人口動態の指標を列挙する。 4. 人口指標の数値の推移を概説する。
1月11日(水) 2限	相澤文恵准教授 (心理学・行動科学分野)	健康と食生活 I 栄養と健康について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康と栄養との関係を概説する。 2. 国民栄養の現状について説明する。 3. 日本人の食事摂取基準について説明する。
1月17日(火) 2限	相澤文恵准教授 (心理学・行動科学分野)	健康と食生活 II 栄養と健康について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 食中毒についてする。 2. 特定保健用食品・栄養機能食品を説明する。 3. 食品の安全性について説明する。 4. 食育基本法を概説する。
1月24日(火) 2限	岸光男教授	保健医療統計 I (国の統計調査) 国の保健医療統計調査を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主な保健医療統計調査を説明する。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
1月25日(水) 2限	岸光男教授	保健医療統計Ⅱ（統計解析法） 保健医療統計の応用について理解する。	1. 調査結果の統計学的分析法（t検定、F検定、 χ^2 検定、相関係数、順位相関係数）を説明する。 2. 主な健康指標（平均寿命、平均余命、新生児・乳幼児死亡率）を説明する。

一般目標（実習）

実習により衛生・公衆衛生の講義で修得した知識を深化させることにより、全身ならびに口腔の健康には、社会・文化的背景が大きく影響していることが理解できるようになる。

実習日程

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
1月10日(火) 1月17日(火) 3、4限	岸光男教授 阿部晶子准教授 南健太郎助教 松井美樹助教 相澤文恵准教授 (心理学・行動科学分野)	環境衛生実習 環境衛生について理解する。	1. 水質検査を行う。 2. 感覚温度を求める。 3. 空気の成分を測定する。 4. 測定値から生活環境を評価する。
1月24日(火) 3、4限	相澤文恵准教授 (心理学・行動科学分野) 南健太郎助教 松井美樹助教	栄養学実習 栄養と健康について理解する。	1. 自分の食生活を質的・量的に評価する。 2. 食習慣改善のための目標を設定する。 3. 食生活と日常生活行動、健康の関連を考察する。

教科書・参考書（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書 名	著者氏名	発行所	発行年
教	スタンダード衛生・公衆衛生 14版	安井利一、神原正樹、荒川浩久編	学建書院	2015年
教	食品成分表 2016	香川芳子監修	女子栄養大学出版部	2016年
参	国民衛生の動向 2015/2016(「厚生」臨時増刊号)	厚生労働統計協会編	厚生労働統計協会	2015年

成績評価方法

定期試験、講義・実習態度、ポートフォリオで評価する。

授業に使用する機械・器具と使用目的

[衛生・公衆衛生学]

使用機器・器具等の名称・規格		台数	使用区分	使用目的
複写機	MEDIOir3300F	1	基礎実習・研究用機器	資料の作成・印刷
ノートパソコン	LetsnoteB3ノート CF-E5KW8AAXS	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習のプレゼンテーション用
パソコン一式	ThinkPadT43P266 8-Q2J	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習のプレゼンテーション用
簡易設置型100スクリーン		1	視聴覚用機器	基礎実習時のプレゼンテーション用
インテリジェントプロジェクター	ip40B	1	視聴覚用機器	基礎実習時のプレゼンテーション用
ノートパソコン MacBook	MC240J/A	1	視聴覚用機器	講義資料作製用
ノートパソコン・Let's note 一式	CF-S9LWEJDS	1	視聴覚用機器	講義用
デスクトップパソコン dynabook 一式	T552/47	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成
プロジェクター	EB-1771WC3	1	視聴覚用機器	症例提示用
カラーレーザープリンタ・ 一式	LBP9200C	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習資料の印刷
デスクトップパソコン一式	PC-MK33MLZE14 SM他	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習資料の作成